

研究情報公開資料(オプトアウト用)

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR23004
1 研究課題名	肥満症に対する内視鏡的調節性胃内バルーン留置術の短期成績
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 減量・糖尿病外科センター 医師 上野知堯 研究分担者 減量・糖尿病外科センター 医師 関 洋介 きずの小さな手術センター 外科 医師 春田英律 減量・糖尿病外科センター 医師 笠間和典
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始:院長許可後 ～ 終了: 2024年3月31日 情報等調査期間 開始: 2017年1月1日 ～ 終了: 2023年6月15日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	【背景】内視鏡的胃内バルーン留置術は、胃内にシリコン製のバルーンを留置することで減量を図る、低侵襲で可逆的な肥満症治療である。当院ではバルーン容量が調節可能で1年間留置可能な Spatz3 を使用しているが、国内における治療成績の研究は十分でない。 【対象】2017年2月～2021年2月に当院で内視鏡的調節性胃内バルーン留置術を施行した 103 例を対象としてその治療成績・安全性を検討することを目的とする。
5 研究の対象 となる方	2017年2月～2021年2月に当院で内視鏡的調節性胃内バルーン留置術を施行した方。
6 試料・情報等の 利用目的、利用方法	上記 4. を目的とし、過去の電子カルテやデータベースを遡って研究を行う。
7 研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)	治療前～治療後1年目までの血液検査結果、放射線検査や内視鏡検査などの画像データ・レポート、身体計測データ、合併症の有無などを解析する。
8 試料・情報を利用 する者の範囲	上記 2 と同じ範囲の者
9 試料・情報の 管理責任者	上記 2 に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。

12	お問い合わせ先	<p>試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人(あるいは代理人)が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。</p> <p>連絡先所属・氏名(研究責任者あるいは窓口担当者)</p> <p>住所 四谷メディカルキューブ減量・糖尿病外科センター 上野知堯 住所 東京都千代田区二番町 7-7 電話 03-3261-0401</p>
----	---------	--

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。